



市長 からの 手紙

82 散歩の途中で

以前、自分にとって神社仏閣は観光で訪れる以外には、ほとんど関心の対象外でした。しかし、最近は神社仏閣へ行くと、今までになく落ち着いた気分になるように感じています。年齢のせいかも知れません。自分一人でやる仕事から、多くの人と調整をしながら進めて行く仕事になったからかも知れません。神社仏閣に手を合わせるときは、目いっぱい欲張って、世界平和・日本の安泰・川越市の無事・家族の健康と平安、を祈願します。私が散歩の途中で時々立ち寄る場所が3つあります。

伊佐沼の北西には、「薬師様」があります。現在ある建物は、大変古い、おそらく約300年前の建築で、かやぶきの味わいのあるお堂です。市の文化財に指定されています。「薬師様」とは、薬師如来を祭っているのです、こう呼ばれていると思います。薬師様の東側には川があり、子どもころ魚釣りに通いました。当時、篠の

やぶがあり、大きな蛇が川を泳いで横切るのを釣りのたびに見ました。釣果より、蛇の印象が強い釣り場でした。今はやぶも全くありませんし、蛇も見ません。

伊佐沼の東側、歩いて3分くらい離れた所に八幡神社があります。八幡様の建物も大変古い建物で立派な彫り物もあります。長い参道があり、50年くらい前までは遠目にも目立つ松並木になっていましたが、今はなくなってしまいました。南側を流れる用水の、伊佐沼からの取水堰の辺りは、やはり釣りのポイントで、小学生のころ寒ブナ釣りに通った場所です。「八幡様は戦いの神様だ」と勝手に信じているので、お参りするときは、負けられないことを中心に祈願します。

もう一か所、伊佐沼の南方約100メートルぐらいの場所にある古谷神社にも時折寄ります。高さ4～5メートルぐらいの小山状の場所に、神社の本殿と社務所や御嶽神社などのほこらを従えて、境内には神楽殿もある神社です（この神楽殿の床下には野良猫が5匹くらい住んでいます）。由緒ある古い神社です。この辺りは、子どもの時は私の行動範囲外でしたので、昔の姿の記憶はありません。ここでは、何かをメインに祈願するのではなく、冒頭書いたことを祈願します。

川越市長 川合善明

くらしに身近な公共交通③

交通政策課 224・5519

市内では、3社のバス事業者による路線バスが運行されています。最近では、交通系ICカード（PASMO・Suica等）を利用することで、小銭を用意せずにスムーズな乗り降りができる路線バスが増えるなど、利用者の利便性の向上が図られています。

今回は、皆さんが路線バスをより利用しやすくなるように導入されている機能を紹介します。

■バスの現在位置などが分かります

「バスロケーションシステム」を利用することで、パソコンや携帯電話、スマートフォン等で、バスの現在位置や遅れ状況を確認できます。

■バスの定時性確保に効果があります

「公共車両優先システム（PTPS）」により、青信号の延長や赤信号の短縮など信号機を制御し、公共車両を優先して通行させています。市内では、東武バスウエストの川越駅東口・埼玉医大線や、川越駅東口・八幡団地線、西武バスの川越駅西口・今福中台線など一部の路線で導入しています。

光学式車両感知器とバス車載機の通信により路線バスの接近が分かります

バス優先制御

複数の交差点で、バス通過時刻を予測し、バスが交差点を通過しやすくします

青信号の延長

赤信号の短縮

時間通りに来た！



公共車両優先システム(PTPS)のイメージ図